

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



あじさいまつり



新設された展望台

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼

定例会	2
一般質問	3~5
委員会報告	5~6
広域圏等・町民の声	7
町の話	8

!このような内容が決まりました!

放射性物質汚染対策事業

1億2578万千円
(国庫補助金1億2575万6千円)

【平成25年第2回定例会】

6月6日～6月14日

議案

◆下仁田町職員等の諸給与の特例に関する条例
全会一致

◆下仁田町学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町議会の議員の諸給与の特例に関する条例
賛成多数

◆下仁田町企業誘致促進条例の一部を改正する条例
全会一致

◆西部簡易水道浄水場改修工事請負契約について
全会一致

◆町道路線の認定について
全会一致

◆平成25年度下仁田町一般会計補正予算
賛成多数

◆義務教育費国庫負担制度の、国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書
全会一致

◆平成25年度下仁田町ガス事業会計補正予算
全会一致

全会一致

全会一致

陳情

報告

◆平成24年度下仁田町繰越明許費繰越計算書について

◆甘楽郡土地開発公社経営状況の報告について

平成25年

第1回臨時会

5月23日

議案

◆平成25年度一般会計補正予算(第1号)
全会一致

◆下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例
賛成多数

専決処分

◆下仁田町税条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
全会一致

◆平成24年度下仁田町一般会計補正予算
賛成多数

◆平成24年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算
全会一致

全会一致

一般質問

町政を問う



岩崎 正春議員

Q 2040年問題への対策は

議員 人口推計によると2040年には町の人口が3,800人台になるという推計が示された。将来を見据えた対策は。

健康課長 子育て世代の支援では、中学3年生までの医療費無料化や、ジフテリア、百日せき、風疹等が定期の予防接種で無料に、総額で2942万円を見込んでいます。

町長 町営住宅や、教育施設の整備、そして、空家対策特定住促進奨励金等々含めて、平成20年から事業を開始した。町ぐんまの木で家づくり、支援事業で県と同額の補助や、その定住促進対策の問題や、結婚祝い金や出産祝い金、または交流の場事業等施策として現在進めている。

議員 ジオパークや世界遺

産を含めて、まちづくりの基本構想は。

町長 世界遺産候補の荒船風穴関連も、地元のご理解とご協力をいただき、道路整備に付随するところの土地の提供等、随時、今、進行中です。

議員 世界遺産、ジオパークの計画や練馬区との防災協定やねぎサミットなど全体の計画を町民に示し、共有する必要があると思うが。

町長 日本ジオパーク認定や、今夏の、世界遺産の調査団イコモスが現地調査に来町することも踏まえ、今後の問題について対策等とっている。



Q 世界遺産やジオパーク関連の安全対策は

議員 ジオパークや世界遺産の荒船風穴等ふまえて、登山やハイキング等危険を伴う場所へ行く可能性も考えられるが。

総務課長 山岳遭難の場合は、警察署から中之嶽山岳会に直接要請

がある。消防団が捜索活動する場合、家族から警察署に捜索願が出され、ま

ず警察署が編成を組んで捜索活動を行い、警察だけでは発見できないと判断された場合に、富

岡警察署長より、町に消防団の捜索要請がある。町では、要

請があつて、町長が捜索の必要があると認めた場合には、消防

団長に捜索活動の要請を行い、

団長命令で捜索活動を行う。捜

索活動は連続2日以内とし、補償面では、公務災害補償対象となる。ジオパーク推進室長 わかりやすい看板を、ジオサイトを設置してあり、QRコードも活用したい。



荒船風穴 説明会





木暮 弘元議員

Q 専決処分について

議員 3億4000万円の高額予算が専決処分された、一部事務組合での事だがこの方法が正しいのか。

企画財政課長 地方自治法にのっとり行った、正しいと理解している。

議員 環境省の復興財源からの特別交付金、入金はいつか。

企画財政課長 交付税決定通知3月28日受付、2億4600万円で専決処分した。

議員 3億4000万円、何に使用したのか。

企画財政課長 専決処分分3億4600万円町に一括交付され2億4608万6000円を甘楽西部環境衛生施設組合へ出した。

議員 清掃センターの改修費か。

企画財政課長 承知してない。甘楽西部環境衛生施設組合のほうで使用している。私が答えるべきことではないと思う。

議員 清掃センターのパンフレットの22年度決算に実施実績はない、予算化は23年度からか、センター改善計画はいつからか。

町長 この内容は施設組合議会で決定している事項であり町議会では答弁できない。

議員 国復興財源から特別交付金が入金された経緯を伺いたい。

企画財政課長 組合へ資料提出を求め、町で交付申請をした。

議員 震災瓦れき等の受け入れを検討した経緯について伺いたい。
町長 (答弁なし)

議員 3億4000万円の特別交付金申請はいつしたか。

企画財政課長 12月交付については9月、3月交付については12月に基礎数値を報告している。

議員 総務省への当初計画の交付申請及び、交付決定はいつか。

Q 指定廃棄物の処理について

議員 6月2日読売新聞記事、福島原発で生じた指定廃棄物処理を巡っての最終処分場建設を予定する市町村調査で「排出された県の中で処理するしかない、他県のものとは発が強いと思われる」との下仁田町のコメントは誰のものか。

健康課長 回答は手続きを踏んで、町長決裁の上で回答した。

議員 4読売群馬版掲載中で県内処理賛成19市町村に下仁田は含まれているのか。

健康課長 法律に基づき国の責任で処理する事になっており、仮に下仁田

定はいつか。

企画財政課長 決定通知は3月28日である。

議員 環境議会の開催はいつか。

町長 環境議会の案件は手元に用意がないし、別の議会ととらえている。

が候補地指定されても受け入れはできないと答えた。

議員 国、国民を挙げての復興予算づくりの中、財源を特別交付税とかけ離れた事業に使用した、これについての考えは。

町長 (答弁なし)

議員 瓦れき処理を受け入れないのに特別交付税を受けた。性格からして全額返納すべきと私は考える。瓦れきを受け入れるとして環境施設組合に町経由で金が入ったような話が聞こえたので、私は

国の会計検査院の検査が入るのではと危惧したので質問をした。

町長 (答弁なし)
議員 次に、職員の給与カットと交付税関連については町職員は復興に協力したいと特段の努力、協力をいたいただいた事に感謝する。



汚染土仮置場

Q 放射能の対策、除染対策の取り組みについて

議員 この事業推進に住民が不信心を持たぬよう説明責任を果たし実施できるように切望する。私の調査と差異があるが今回はあえて指摘しない。

委員会報告

予算決算特別委員会報告

★平成25年度下仁田町一般会計補正予算について

【歳入】

Q 地方債補正について、利率が年5%以内であるが、最近の利率は。

A 平成24年度については、過疎対策事業債のみの借入であるが、年利0.5%である。

【歳出】
Q 補正となった理由を順に説明を。

◆観光費荒船の湯運営費

A 商工観光係では、一番の使用が見込まれる夏の行楽シーズンに向けて、みちの駅のE.V・荒船の湯のソフトクリームを整備したいということですので。



道の駅南側E.V充電器設置予定地

◆道路新設改良費

◆橋梁維持費

A 土木管理係では、道路新設改良工事について

は、当初予算を組んだ下仁田〜栗山線が国費ベアス要望額と誤っていたので修正しました。
橋梁維持費については、24年度補正に合わなかったメニューが該当に

なったため追加要望し内定となったためです。事業内容は、万年橋の修繕と15m未満の橋梁点検です。

Q 土木の新設、変更があったのは仕方ないのか、6月で補正するのはどうか。

A 交付申請時の金額が間違えていたため、交付金に見合うように補正させていただきました。

Q 橋梁維持費、委託料、事業内訳は。

A 15m未満の橋梁点検業務費で3500万円、1橋当たり20万円から30万円となっています。残りは万年橋の詳細設計費等です。

Q 1橋20万円の根拠は。

A 県からの数値です。

Q 万年橋の修繕をしていくことは、新設をしないという町として結果が出たということか。

A 基本的に復元し、2t車は通行できますが、4t車は通行できません。

Q 長寿命化、地元の要望もある、幅員も狭い、ジオサイト、地元の安全をどう取扱うか聞きたい。

A 土木技師に、新橋架設の金額を聞いたり、地元の見聞も聞きましたが、修繕を熱望されました。優先順位は高いため、修繕いたします。新橋建設は趣旨採択になっていません。

Q 南牧村で上流に万年橋と同様のアーチ橋があり、隣に新しい橋が架かっている。将来の青写真を地元を示しておく必要があるのでは。

A 地元で説明の必要があると思います。橋が通れないとなれば、何かしら考えていかなければならないが、修繕し元と同様に使用できれば良いのではと考えます。

◆下仁田中学校空調工事の関連質疑

Q 今年度交付される地域の元気臨時交付金の交付額は。

A 国より示され、予定額は算定事業の4事業について8,300万円の内示がありました。

Q 教育費で今回の時期に補正予算を出した理由はなにか。

A 今回の補正予算は、下仁田中学校のガス空調工事、国の緊急経済対策です。

Q これから、実施となると工事は何のくらいか。

A 機器は注文生産であるので、通常2か月かかるが、できるだけ夏休み前に工事をおこなって、9月から使えるように考えている。

Q 空調のガス料金の予算はどうするの。

A これから工事の発注となるので、完成時期をふまえて、9月補正等考えたい。
以上審査の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

◆平成25年度下仁田町ガス事業会計補正予算について

Q ガス事業会計の平成24年度決算状況は。

A この後、監査を受け、決算議会で報告を予定しています。速報値としては、経常利益1100万円となっております。

Q 黒字となった主な理由は。



冷房施設の設置予定

た料金改定に伴い、ガス売上が15,788千円増加していることが主な要因です。詳細は決算議会で説明します。

Q 今回、中学校に導入する機械（GHP）の台数と、予定されるガス料金は。

A 計5台です。1日約8,100円と

予定されます。Q 金融機関等へのGHPの売り込み努力について。

A 大型ガス器具販売による供給の増加をさせるため、以前からセールスを掛けています。

全会一致で可決すべきものと決しました。

総務常任委員長報告

総務常任委員会は、6月7日午後1時から、委付託された陳情1件について審査

「義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるため」の、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について」を議題とし、直ち

に審査に入り、委員から日本の教育水準は国際的に見てどの位か等の質問もありましたが、国の負担金が減額され、地域の財政力により格差が生ずるのは問題で、義務教育は国が堅持する必要があるとの意見があり、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

去る5月24日富岡甘楽地方議会定期総会が、妙義グリーンホテルにて開催されました。富岡市・下仁田町・甘楽町・南牧村議会議員の出席のもと、総会、研修会が開催されました。

研修会では、群馬大学社会情報学部情報行動学科小竹裕人准教授の講演がありました。

議題は、「NPOの現状と可能性」についてであり、日本における、

NPOの理解として、特定非営利活動法人、特定非営利活動推進法、NPO法(1998・12)制定によりま

NPOは、利益を出すことができ、給料を支払ってもよく、そのためボランティアで行う活動ではありません。世の中の雰囲気ではボランティアとなってい

ます。NPOの職員として働くにしても、群馬県の場合、有給常勤スタッフの年収は『100万〜200万円』とのことですので、中々若者等の雇用の受け皿には、またなれないようです。

広域圏NEWS

富岡甘楽広域議会

7月2日開催される

議長の選挙

佐々木 功 氏(富岡市議会議員)

財産の取得について

水槽付消防ポンプ自動車 4,851万円

監査委員の選任

哲夫 氏(甘楽町議会議員)



講演会

富岡甘楽地方議会議員連絡協議会総会 & 講演会が開催される

◆ツアーは6コースから選択！

ジオパークのツアーもあります！

◆町の国指定史跡荒船風穴を含む「富岡製糸場と絹遺産群」が国において世界遺産に推薦が決定されました。

(詳しくは荒船風穴HPから)

町民の声

下仁田中学校PTA会長

吉澤良治さん

下仁田小学校及び下仁田中学校は、少子化等に伴い統合され、各校とも1校ずつとなった現在、小学校・中学校とも、校舎・体育館・及び長年の要望であった中学校のグラウンドも今春出来上がり、下仁田町の学校教育環境はすべて整備され、非常に恵まれている環境です。これも、町・議会・そして町民のご理解の賜物と思っています。財政も厳しい世の中ですが、ここ下仁田町においては、未来ある子供達の為に教育環境に多大な予算計上をして頂いていることに感謝しています。

かつでもあります。生徒の減少でPTA会員の個々の負担も大きくなっていることも現状ですが、試行錯誤して取り組んでいます。今後は、町民と生徒・児童が共同して行える事業に積極的に取り組み、未来ある子供達に貴重な体験が出来るよう、町・議会・町民と連携を計り、取り組んで行きたいと思っています。



整備された下仁田中学校校庭

町の話題

《いこい処》について



仲町のいこい処

成12年ころから、現在の商工会西に《いこい処》と命名し再出発致しました。

《位置づけ目指す方向》

平成17年に至り、町からの当該施設（空店舗対策事業費）への助成金が全額カットされた為、一時、《いこい処》の運営をどうするかで、町商店街等の有志による思いがその継続を後押しして、頑張り抜くこととなり、地域の一般の方々をはじめ、事業所、商店、飲食店等の皆様のご協力、ご支援により今から7年前の平成18年度夏から民間の力でほぼ運営されるようになりました。

地域の皆様の熱心な御協力を頂き自主運営という形で早くも7年目となりましたが、その間、店舗活用

の主体を成す『絵画、写真、書道展』をはじめ、『さつき盆栽展や俳句会』迄に発展、拡大し、年間を通じて予約で一杯という、うれしい悲鳴です。

時には、こうした施設は「お年寄りだけの立ち寄り場所」と白い目で見られた時もありましたが、最近

では、40代、50代の人達など、各種展示会を通じてのご来店も増加しつつあり更なる、こうした空店舗活用も視野に、もっと《アンテナ・ショップ》としての機能を果たせるようなご支援を頂ければ、広い地域振興の芽が更に発掘されて地域の活力と元気を秘めた地域づくりが出来ると確信致します。

《いこい処維持運営会：ひとり言》

編集室から

猛暑が続く今の時期は、健康管理が難しいものです。自分の体を健康に保てるように、規則正しい生活、早寝、早起き、軽い運動を心掛けて、冷房の使い過ぎには注意をしましょう。

節電も大切ですが、自分の体は、自身で気をつけて、元気でこれからの暑い夏を乗り切りましょう。

広報委員会では、定例会終了後に、年4回、議

会、たよりを発行し、住民の皆様、議会での審議の様子、町の状況を分かり易くお知らせすることに心がけております。今後、より身近に感じられるような、紙面づくりに、邁進していきますので、皆さんの、ご意見等をお待ちしております。

広報発行特別委員会

委員長 矢嶋榮一
副委員長 木暮弘元
委員 原 秀男
高瀬政信
堀口博志
岡田武二

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>
問い合わせ先：電話82-2111
(内線610番)